

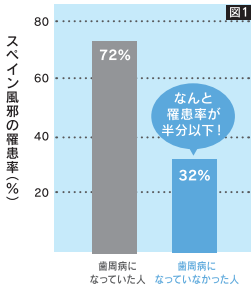
With コロナにおける口腔健康の増進(続編)

歯周病原菌を退治してコロナにならない、負けない元気な体を作ろう

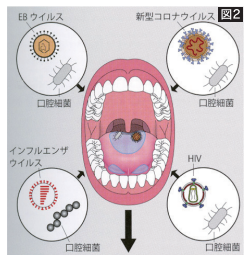
歯周病原菌はコロナウイルス感染を助長します

新型コロナウイルスの第2波が

本格的になり、緊張感が続く日々が続いているとお見舞い申し上げます。第45弾で、院内感染対策をしっかりしている歯科医院で口腔ケアを受け、口腔健康を増進しコロナに強い体を作ることが大切なことをお話ししました。本号ではこのことを少し追加します。約100年前のスペイン風邪の流行時には、歯周病患者のほうがスペイン風邪に感染しやすかったことが報告されています(図1)。これは歯周病原菌がウイルスの侵入を手助けしたためと考えられています(図2)。新型コロナウイルスでも同様に、歯周病の人は新型コロナウイルスに感染しやすいと考えられています。



▲歯周病の人はスペイン風邪になりやすかった(クインテッセンス出版「ニコ 2020年7月号」より引用)。



▲口腔内のウイルスは口腔細菌の助けによって感染していると考えられている(医歯薬出版「歯界展望 2020年7月号」より引用)。

院内感染対策が充実した歯科医院で、歯周病を退治してコロナに強い体を作ろう

そのため、歯周病の予防や治療を歯科医院でしっかり受けると、新型コロナウイルスへの感染や肺炎の重症化のリスクが減ります。うがい薬で新型コロナウイルスが予防できることを吉村大阪市長が発表し、物議を醸しました。殺菌薬が入ったうがい薬でコロナウイルスを減らすことができることは証明されており、歯周病原菌も減らすことができます。塩化セチルピリジウム、シネオールなどのコロナウイルスや歯周病原菌に対して殺菌効果があるうがい薬が推奨されます。吉村市長のポピド

ンヨードは殺菌効果が高い一方、体に害もあるので長期間使うことはお勧めしません。また、うが

い薬だけでは歯周病原菌を退治することはできません。あくまで補助的に使用するものです。歯科医院でうがい薬の使い方も含めたホームケアのやり方(図3)を

習い、歯周病原菌を器具で除去すること(プロフェッショナルケア)が最も大切です。一方、コロナウイルスは唾液の中にも認められています。院内感染対策をしっかりしている歯科医院で口腔ケアを受け、口腔健康を増進しコロナに強い体をお作り下さい。ぜひ、専門家に相談下さい。



▲歯周病原菌の退治には、歯周病原菌を退治することが大切。そのためには歯科医院で正しい歯磨きやうがい等のホームケアのやり方を指導してもらうことが最も大切である(クインテッセンス出版「ニコ 2020年7月号」より引用)。



医療法人
くらのうえ市丸歯科
院長市丸英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国のスタンフォード大学医学部研究員を務める。長崎大学臨床教授、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410
住/島根市東上2丁目187番地 URL www.10shika.jp